

<5つの基本理念>

- 1. 男女の人権の尊重**  
「女だから、男だから」ということで活動の場を制限されることなく、一人一人が個人として尊重され、その能力を発揮する機会を確保します。また、暴力や性別による差別的取り扱いを受けない社会をつくります。
- 2. 家庭生活と他の活動との両立**  
家庭を構成している男女が、共に力を合わせて家事や子育てや介護などをしながら、それぞれの仕事や社会活動もできるような家庭や地域社会づくりをします。
- 3. 制度や慣行の改善**  
「上に立つのは男、女はその補助」といった差別による役割分担の固定化がないように、男女で話し合っ、制度や慣習の改善に努めます。
- 4. 政策等の立案及び意思決定への共同参画**  
男女が社会の対等な構成員として政策の立案及び意思決定に参画する機会をつくります。
- 5. 平和・国際社会への貢献**  
国際的な取り組みにも目を向け、男女共同参画社会の実現に向けての国際的な取り組みの成果や経緯を積極的に活かすとともに、平和な国際社会への貢献に努めます。

社会推進のための啓発講座や書籍・パネル等による情報提供を実施しています。

一皿から広がる新しいかたち

**浦** 添市は、男女共同参画社会基本法に定められた基本理念に基づき、浦添市の実情にあった行動計画「第2次浦添市男女共同参画行動計画」で「女男プラン」を策定し、男女共同参画のための取り組みを実施してきました。

計画の中では、市民と行政のワークショップから提案された「メンズキッチンデー」が市民と行政が協働するアクションプランとして位置づけられました。男性がキッチンに立つことで家事ができるようになり、料理や買い物を通して仲間が増えるなど、一皿から広が



▲第3次男女共同参画行動計画「策定のため、平成28年3月男女共同参画審議会発足しました。

る新しい関係性をスローガンに男女が助け合える家庭・地域・職場づくりをねらいとし、実践してきました。

今年度は、平成27年12月末に決定された国の第4次男女共同参画基本計画を基に、これまでの実績を検証し、「第3次浦添市男女共同参画行動計画」を策定します。



■特集  
**男女共同参画**  
—女男が認めあい輝き生きる社会—



▲2016ニューイヤーパーティーでもちつきに協力してくれた浦添市女性団体連絡協議会のメンバー

地域で楽しく活動しています

**浦** 添市には、地域で楽しく活動しながら男女共同参画社会づくりを目指す組織「浦添市女性団体連絡協議会」があります。

市内の各種女性団体で組織され、研修会や講演会、情報交換会のほか、てだこウォークでの炊き出しや各種イベントへの協力など積極的に活動しています。

平成28年度の加盟団体

- ・浦添市更生保護女性会
- ・浦添市婦人連合会
- ・浦添市母子保健推進員連絡会
- ・うらそえ「女性の翼の会」

◆加盟団体を随時募集中しています。

問い合わせ 浦添市女性団体連絡協議会  
☎(874) 5711

浦 添市には、男女共同参画社会基本法に定められた基本理念に基づき、浦添市の実情にあった行動計画「第2次浦添市男女共同参画行動計画」で「女男プラン」を策定し、男女共同参画のための取り組みを実施してきました。

**男女共同参画週間行事**

●パネル展  
期間 6月24日(金) ~30日(木)  
場所 浦添市役所 本庁1階ロビー  
歴代婦人週間ポスターの掲示や琉球政府時代の女性達の写真などを掲示。

●行政相談  
日時 6月28(火) 午後1時~午後4時  
場所 浦添市役所 本庁1階ロビー  
担当 山川 重子 氏 (総務大臣委嘱 行政相談委員 男女共同参画担当委員)

●男女共同参画市民企画講座を募集中です  
●すべての人が性別に関わりなく、自分らしく生きるために役立つ講座の企画案を募集しています。  
●事業実施期間 決定後から平成29年2月28日(火)まで。  
●募集締切 平成28年11月30日(水)まで  
●募集件数 5講座以内  
●応募方法 詳細は右のQRコードから

これまで開催した市民企画講座の一例  
\*親子で性教育  
\*親子ぼうさい探検隊

私たち男女共同参画推進ハーモニーセンターでは、週間に併せて、パネル展や行政相談を実施します。男女共同参画社会実現のためには、一人一人の取り組みが大事です。この機会に、女性も男性も多様な暮らしや働き方が可能な社会を作るために、私たちのまわりの男女のパートナーシップについて考えてみませんか？



「男だから」「女だから」

昔、ランドセルの色と言えば、男の子は黒色、女の子は赤色と2色で分けられていたのが普通でした。

しかし、今では青色、緑色、黄色、オレンジ色、ピンク色などランドセルのカラーは実にバリエーション豊富であり、男の子も女の子も自分が好きな色のランドセルを選べます。

こうした社会的に後付けされた性別役割「男だから」「女だから」という考え方やイメージをジェンダーと言います。

男女共同参画社会とは

**男** 女だから女だからという理由だけで、やりたいことができなかつたり、選択肢が狭められたりして個人がその持つ能力を十分に発揮できないこともあります。それは結果として、社会の豊かさや活力を失わせることにもつながります。

これまでの女性と男性の関係は、必ずしも対等とは言えず、社会的に女性の地位は低い状況に置かれてきました。また、男性の方は仕事に追われ、家庭や地域との関わりが希薄になるなど、人間らしい生活ができにく

い状況が生じています。

男女共同参画とは、「男だから」「女だから」といった性別やジェンダーによる固定概念に捉われず、男女がお互いに対等なパートナーとして尊重しあいましよという考えです。

家庭、地域、学校、職場など社会のあらゆる場面で、共に考えて、共に行動し、喜びも責任も分かち合える社会が浦添市が目指す男女共同参画社会なのです。

男女共同参画推進行動計画

**平** 成11年6月23日に公布・施行された「男女共同参画社会基本法」に基づき、国、県、市町村は、それぞれ男女共同参画計画を策定し、女性にとつても男性にとつても生きやすい男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを行っています。

長時間労働を見直し、家庭生活や地域活動等に参画しやすい仕事と生活の調和、いわゆる「ワークライフバランス」は、これからの重要な課題です。

浦添市では、そういった課題に取り組み、男女共同参画社会の実現のために、浦添市男女共同参画推進ハーモニーセンターが中心となって、男女共同参画